

# 新規事業採択時評価結果（平成16年度新規事業化箇所）

担当課：都市・地域整備局街路課  
担当課長名：齊藤 親

事業名	花咲通		事業区分	街路	事業主体	旭川市
起終点	自：北海道旭川市東8条9丁目・新富3条1丁目 至：北海道旭川市大雪通6・7丁目				延長	0.5 km
事業概要						
当路線は、旭川圏の2環状8放射道路の放射道路である国道40号と国道39号を結ぶ幹線道路であり、当路線の踏切を立体交差化することにより、踏切渋滞を解消するとともに、円滑な都市内交通を確保する。						
事業の目的、必要性						
当路線は、国道40号と国道39号を連絡する重要な幹線路線であるが、現道の幅員が狭小であり、踏切部においては交通渋滞が発生している。当路線の立体交差を整備することで、踏切渋滞を解消するとともに道北地域の都市間連絡の強化を図る。						
全体事業費	39億円			計画交通量	16,400台/日	
費用便益分析結果	B / C	総費用	総便益		基準年	
	1.2	32億円 事業費：32億円 維持管理費：0億円	38億円 走行時間短縮便益：33億円 走行費用減少便益：6億円 交通事故減少便益：-1億円		平成15年度	
事業の効果等						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・円滑なモビリティの確保（踏切の除却により交通改善が見込まれる）</li> <li>・都市の再生（市街地の都市計画道路網密度が向上する）</li> <li>・国土・地域ネットワークの構築（日常活動圏都市へのアクセス向上が見込まれる）</li> <li>・安全な生活環境の確保（歩道が設置されることにより安全性の向上が期待できる）等</li> </ul>						
関係する地方公共団体等の意見						
現在、北彩都あさひかわ内で整備中の官公庁施設には、上川管内全域から利用者が訪れるものと想定され、花咲通の整備により、名寄・士別方面からの自動車交通が花咲通を介して国道39号、北彩都あさひかわへアクセスすることが可能となり、広域幹線道路として重要な役割を果たすことが期待される。						
事業概要図						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。